

640	物にする もの	①技術などを習得する。②狙っていたものを手に入れる。
639	物心が付く もの	幼児期を過ぎるくらいまで成長して、世の中のことが少しずつ分かり始めてくる。
638	元も子もない もと	努力の成果だけでなく、失う必要のないものまで何もかも失う。
637	元のさやに納まる もと	一旦関係が悪くなった者同士が、再び元の親しい関係に戻る。
636	面目を施す めん	①自分の名誉を傷つけずに済む②それまで以上に、世間での評価を高める。
635	目を見張る め	驚きや感心から、目を大きく見開く。
634	目を回す め	①気絶してしまう。②非常に忙しいさま。
633	目を丸くする め	驚いて目を見開く。
632	目を細める め	かわいいものを見たり、うれしいことがあつて、につこりほほ笑む。
631	目を光らす め	不正などが無いように、注意して見張る。
630	目を離す め	油断したりして、注意して見ていたものから目をそらす。
629	目を盗む め	人に見られないように、こっそりと事を行う。
628	目を通す め	本などの全体を、大まかに見たり読んだりする。
627	目をつぶる め	人の欠点や悪事・失敗に気が付いていても、見て見ぬふりをする。
626	目を付ける め	関心をもつて注意を向け様子を見る。
625	目を白黒させる め	あまりの苦しさに目を激しく動かす様子。あわてふためく様子。
624	目を皿のようになる め	物を探す時や、何かに驚いた時などに、目を大きく見開く。
623	目を凝らす め	じつと見つめる。
622	目を配る め	見落としないように、あちこちを注意して見る。
621	目を掛ける め	気に入っている人などを特にひいきしたり、世話したりする。